

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

巻頭

Photo

高尾山のいきものたち

アオゲラ

(キツツキ科)



緑色が鮮やかなカラフルな鳥。頭の上が赤く、胸と腹は白く、嘴が黄色い。全長29cm程のキツツキの仲間で、平地から山地の森林に生息し、市街地の緑地などにも棲む。鳴き声は、「キョッキョッキョ」や「ケレケレ」など。

食性は、主に古木の幹や枝をつついて中にいる昆虫を引き出して食べ、他にも、クモやアリ、果実なども食べる。木をつつくのは、餌を捕えるためのほか、巣穴を作る時や、大きな音を出すことで縄張り宣言や異性への求愛をするためのこともある。繁殖期は4～6月で、太い樹木の幹に穴をあけて巣を作り、雌雄共同で雛を育てる。アオゲラは、このように餌の虫が多く潜み、巣穴ができるような古い木や大きな木がある豊かな森で生きている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

富 ちゃん 皿 ちゃんの

NO.77



ウワミズザクラ

(バラ科 サクラ属)

北海道、本州、四国、九州に分布し、高尾山にも自生しています。樹高10～15m太さ60cmになる。落葉高木の広葉樹です。樹皮を傷つけるとクマリン（桜の葉の香り）の強い香りがします。

名前の由来は、昔、亀の甲を焼き、できた裂け目で吉凶を占う亀卜に、この材の上面に溝を彫って使った「上溝桜（ウワミソザクラ）」が詛ったと云う説があります。日当たりの良い、小川沿いなど湿った環境を好み、春先、葉が開いてから、長さ10センチほどのロールブラシのように見える小さな花を多数、密に咲かせます。花は白色で5枚の花弁からなり、新潟などでは、つぼみを塩漬けにしたものを「杏仁香(あんにくご)」と呼んで食用としています。蜜が多いのか、虫がよく集まります。

材は、軽く強靱で緻密な木目をもち、床柱や器具材、彫刻等に用いられます。

果実は初夏に赤くなった後黒く熟し、生食で食べることができ、鳥やツキノワグマも大好物で、糞とともに種を散布されるため、山の中の至る所に自生しています。果実酒は、健康ドリンクとして飲まれます。不老長寿の妙薬とも云われているとか？ (皿)



職場体験

八王子市立 元八王子中学校

9月5日（火）～7日（木）の3日間、八王子市立元八王子中学校2年生の生徒3名が当センターで職場体験をしました。

「センターの仕事場は森林の中なので、まずは安全第一で怪我をしないように」との意識喚起のあと、さっそく近隣の国有林での間伐作業へ。林業のサイクル、間伐の必要性、安全な伐倒方法などの説明を受けた後、3人の職員がマンツーマンで指導をしました。切り倒したヒノキは森林教室の丸太切りに使うため肩で担いで林道まで運搬。生徒さんからは「人生初めての体験。疲れたけど楽しかった」などの感想が聞かれました。

二日目は遊歩道点検、森林観察、森林清掃を体験しながら、日影沢からいろはの森コース経由で山頂へ。途中、高尾山の豊かな森林植生やスギ・ヒノキの人工林管理について学んでもらいました。

三日目は世田谷区の小学校の森林教室の日。森林観察や丸太切りの手伝いをしてもらいました。初めは小学生相手に少々戸惑っている様子でしたが、小学生がヒノキの皮むきに苦戦していると進んで手伝う姿も。

3日間だけの職場体験でしたが、これを機に森林・林業にさらに関心を持ってもらえば本望です。（枝）



森林教室

世田谷区立 松沢小学校

令和5年9月7日（木）に世田谷区立松沢小学校5年生73名が森林教室にやってきました。

翌日は台風の上陸による荒天が予想されていましたが、天候は穏やかで絶好の森林教室日和となりました。午前中は全員での森林観察を実施しました。人工林と天然林の違い、森林の役割、珍しい植物の観察、途中の沢での沢蟹探し等盛りだくさんの内容に、子供たちは疲れも見せることなくはしゃいでいました。

午後からは、丸太切りと座学（動画・パワーポイントによる森林学習）です。丸太切りでは、おそらく初めて触るヒノキの丸太の香りに笑顔で反応していました。座学ではちょっと眠そうな感じもありましたが、高尾山に住む生き物たちの紹介の場面ではテンション高く盛り上がりました。

楽しい時間もあっという間に過ぎて、閉会式となりました。まだまだ物足りない感じの子供たちでしたが、笑顔いっぱいでの帰路へとつきました。（磯）



職場体験

八王子市立 第五中学校

9月12日(火)～14日(木)の3日間、八王子市立第五中学校2年生の生徒1名が当センターで職場体験をしました。当初複数名の予定でしたが、事情により1名に。生徒さんが緊張しないようにセンター職員も心がけました。

初日は大平国有林での間伐。野球部だけあって体力は十分。それでも急斜面での丸太運搬には戸惑った様子で、職員が安全かつ効率的に運搬する方法を実践するとなるほどと頷いていました。

二日目は日差しの強い暑い日でしたが、いろはの森コースの遊歩道点検などを体験。途中、ショートカットの踏み跡ができてしまっているところでは、登山者が通行しないよう危険表示のテープを張る作業を実施。下山後はセンサーカメラの画像を見ながら動物の出没記録をしてもらいました。生徒さんは、高尾山にもいろいろな動物が息していることに驚いていました。

三日目は午前中、遊歩道の丸太階段の補修。鍬やカケヤを使ってのきつい作業を汗をかきながら行っていると、登山者に「ご苦労様です。ありがとうね」と声をかけられる場面も。午後はセンターに戻りクラフト体験室で一般のお客さんのクラフト作成の手伝い。職員と一緒に積極的にお客さんに話しかけている姿に感心しました。

3日間、非常に盛りだくさんの仕事体験をしてもらいましたが、今回体験したことをこれからの人生の中で一つでも思い起こしてもらえれば嬉しい限りです。

(枝)



遊歩道がさらに安全に歩けるようになりました！

9月2日(土)、日影沢地区で森林保全等のボランティア活動を行っている「フォレストサポート・高尾(FS高尾)」の会員の皆さんに、昨年度に引き続き、遊歩道の丸太階段の設置作業を実施していただきました。設置箇所は、森林教室で小学生が歩くいろはの森コースの一部です。傾斜のある山道を歩くことに慣れていない子供たちは、特に雨後の滑りやすい状態のときの下りでは怖がる児童も多く、中には尻もちをついてしまう子も。

当日は15名の方が参加し、初めに設置方法や作業手順を全員で確認。その後、二班に分かれて作業。掛矢や唐鍬などを使っての力仕事でしたが、無事怪我もなく7段ほどの丸太階段が設置できました。作業中、一般の登山者の方からも「ご苦労様です」「ありがとうございます」の声をかけていただき、FS高尾の皆さんも「役に立てる活動ができてよかった」と話していました。センターでは、引き続きボランティア団体の協力も得ながら森林教室等の安全確保のための点検、維持修繕を行っていきたいと考えています。(枝)



つるかごあみ

森の素材を使ってかごを編もう！

実は！林業にとって、ツルは木の成長をじゃまをするやっかいもの！！

でも、そんなツルも立派な「森からのおくりもの」です。森林の手入れをした後にツルを集めました。

この大切な「森からのおくりもの」を余すことなく使いおしゃれなカゴを編もう！

光が当た
らなくて
つらいよ



作成例

2023

12/2(土)

高尾森林ふれあい推進

センタークラフト室・展示室

10:00～15:00

応募は11月20日(月)まで

応募はこちらのサイトから



公式ホームページ
主催イベント
詳細情報→



編集後記

10月に入り朝晩めっきり過ごしやすくなってきました。

高尾に森林教室の季節がやってきました。老体にムチ打ち頑張ります!!



カリガネソウ

Forest通信 NO.416

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail: ks_takao_postmaster@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

